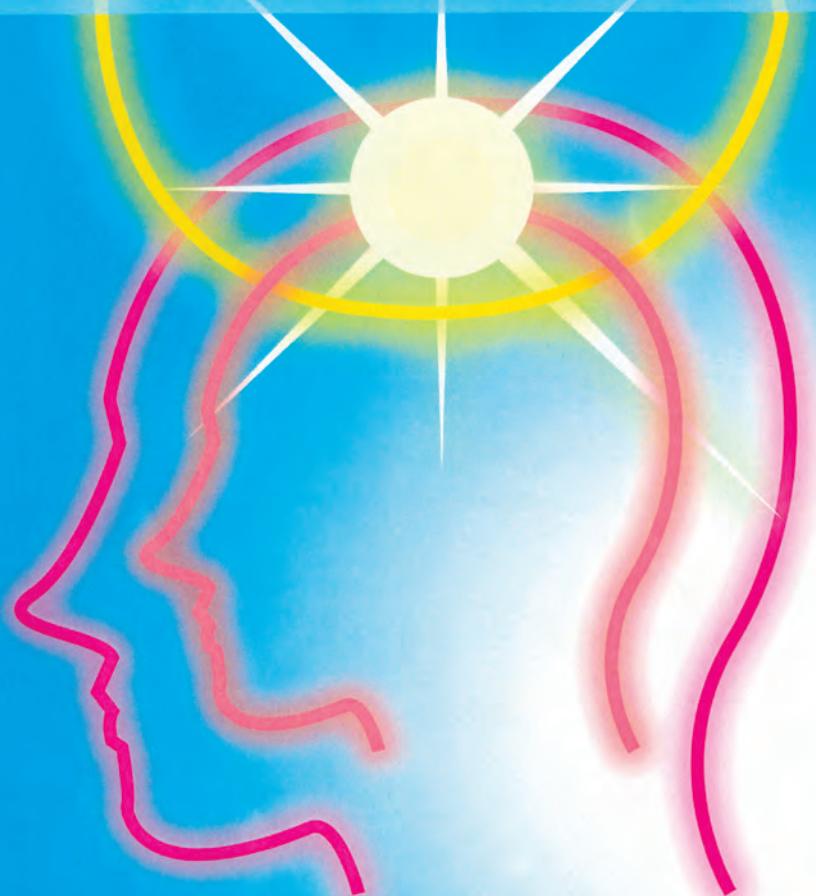


◆◆◆原因の追求・そして早めに治療を◆◆◆

頭 痛



主な 症状

頭痛の原因

～日本人の4人に1人は頭痛もち～

くも膜下出血

- ・突然ハンマーでなぐられたような激しい痛みと吐き気、嘔吐、意識障害

脳腫瘍

- ・2～3ヶ月前から早朝の頭痛。これが徐々に悪化、嘔吐も出現。

慢性硬膜下血腫

- ・1ヶ月前程に軽痛、頭を打ったあと頭重感がひどくなってきます。ボケ症状やマヒを伴うこともあります。

緊張型頭痛

- ・後頭部からの鈍痛で両側性です。肩こりを伴い、嘔吐はありません。

片頭痛

- ・視野にチカチカした光（閃輝性暗点）、嘔吐、片側の脈をうつような頭痛です。入浴で悪化、体質や遺伝（母から）の関与もあり。

髄膜炎

- ・発熱とともに頭痛が出現し、ぐったりしてくる。

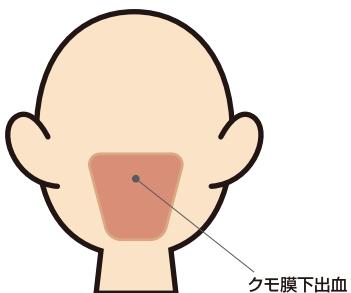
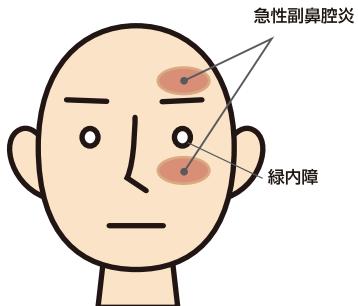
急性副鼻腔炎

- ・2週間前に風邪症状をみとめ、一側の前頭部あるいは上顎部がズキズキ痛む

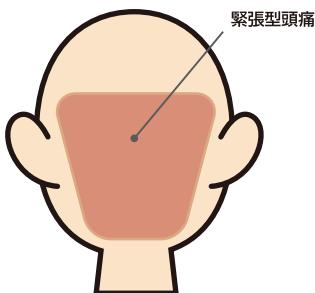
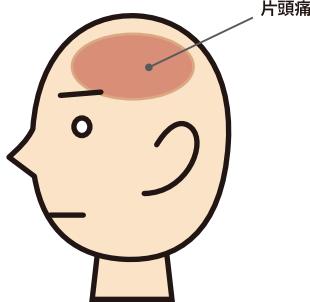
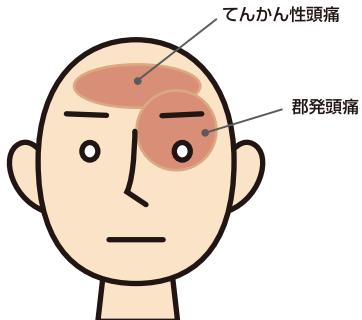
頭痛の場所

～おおよその原因がわかります～

急性の頭痛



慢性にくりかえす頭痛



※どこが痛いのかが非常に重要です。図に示すようにおおよその識別が出来ます。

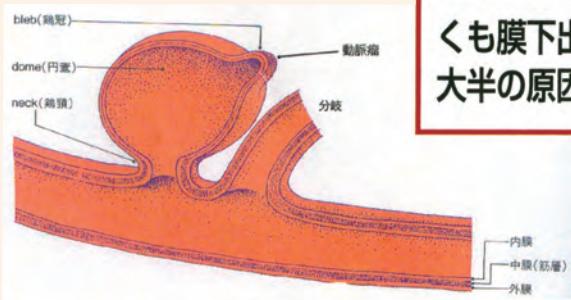
1

くも膜下出血

～2人に1人がなくなる最もこわい頭痛です～



最も怖い頭痛はくも膜下出血です。出血する前の警告サイン（まぶたが下がるほど）の時期や、軽い出血では診断が難しいことがあります。時に意識を失ったり痙攣が出現します。くも膜下出血を少しでも疑った場合はまずCTを撮影することです。CTでわずかな高吸収域を見ることがあります。ここで少しでもあやしいと思ったら、すぐに脳外科専門医にみてもらうことです。この頭痛を見逃すと数日からあるいは1ヶ月以内に大出血をして死亡することがあります。



くも膜下出血を引き起こす
大半の原因は、脳動脈瘤の破裂です。

囊状動脈瘤

2

脳腫瘍

～1ヶ月ぐらいの間に頭痛の症状がだんだんひどくなります～

増強する頭痛、嘔吐、視野の異常、手足の麻痺、けいれんなどの兆候があらわれることがあります。

脳腫瘍は、年間1万人に1人発生すると考えられています。

代表的なものは、

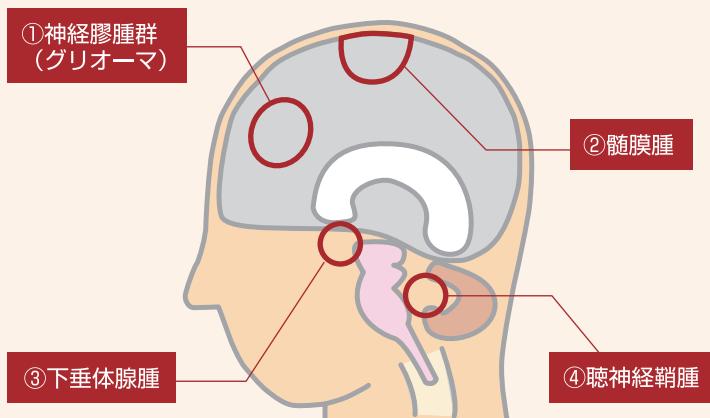
①神経細胞の支持細胞である星細胞から発生する

神経膠腫群(グリオーマ)(29%)

②脳表を被っている硬膜から発生する髄膜腫(25%)

③ホルモン分泌する下垂体から発生する下垂体腺腫(17%)

④聴神経から発生する聴神経鞘腫(10%)などがあげられます。



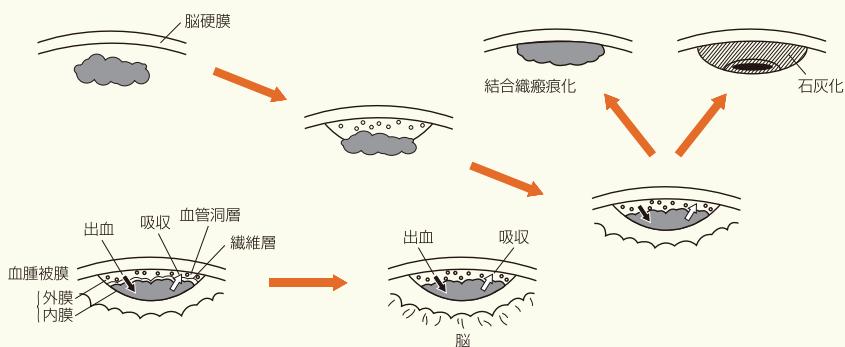
3

慢性硬膜下血腫

～軽い頭の外傷からしばらく期間をおいて頭痛が出現してきます～

ボケ症状や軽い麻痺が現われることがあります。外傷後の炎症性の産物で、被膜に包まれた古い血性の血腫が硬膜下腔に貯留し、だんだん脳を圧迫します。外傷後1ヶ月余を経て発症し、さらにボケ症状や半身マヒなどの特有な臨床症候を呈します。

慢性硬膜下血腫の発達と消退



この慢性硬膜下血腫に関して、脳神経外科治療は、局所麻酔下で1ないし2個の小さな穴を頭蓋骨に設け、硬膜の下に貯留した血腫を洗い流すといった治療を入院後直ちに行います。

術後、良好な結果で早期に社会復帰出来るよう治療を行っております。
後遺症に関しては皆無と言って良いと思います。

4

緊張型頭痛

～最も多い頭痛の原因です～

後頭部から首筋がいたく30分から1週間のいたみが毎日のようにあります。首や肩のこりをともない、めまいがする事もあります。肩、首の筋肉や神経の緊張が原因です。若干女性に多いとされています。疲労やストレス、気候の変化などで増強します。治療は誘自やストレスの解消、筋弛緩薬、鎮痛剤やマッサージ、入浴、局所麻酔など内科的な治療が主体となります。



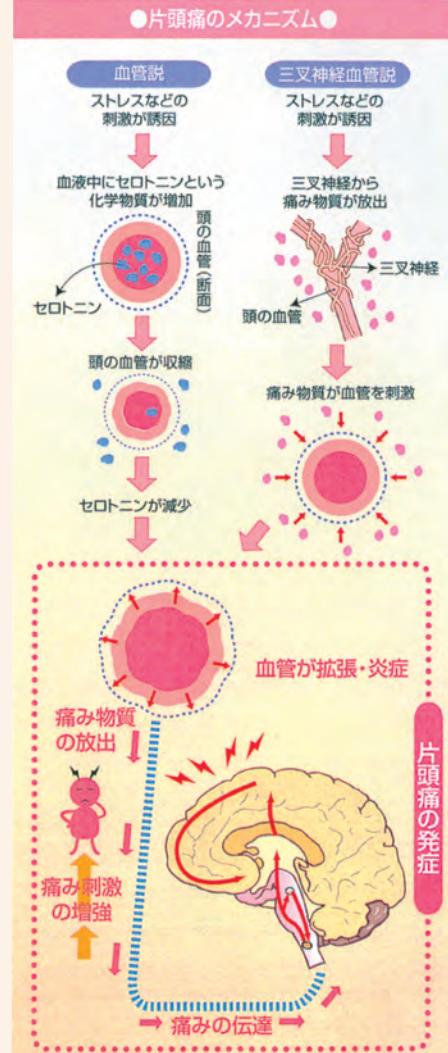
5

片頭痛

～女性に多く親子で遺伝することがあります～
持続は数時間以上です

特徴的な症状は、脈打つような痛みです。頭痛とともに吐き気がしたり実際に吐くこともあります。頭痛があるときは静かな暗いところでじっとしてみたい、頭痛が始まる前に視野にチカチカした光が現れる。ひどいと寝込んでしまう、体を動かすと頭痛がひどくなります。夜寝ていて痛みで目覚めることが多い。過去何度か経験していることが多いです。頭痛は数時間から3日間持続する、家族に同じような頭痛持ちがいることもあります。特に母親が片頭痛の時子供の半数に出ます。

前ぶれとしては、ちかちかした光が現れたり、あくび、空腹感、肩や首のこりなどが起こる方もいます。片頭痛専門の薬(トリプタノン製剤他)があります。



間中信也先生著から

6

髄膜炎

～かぜの症状に似た発熱と頭痛～

吐き気や後頭部の首筋が硬くなる症状が出ます。数日前から発熱とともに頭がガンガンするという訴えが多く、この場合に重要なのはぐったりとしている、食事もとれない、という重症感です。軽いウイルス性髄膜炎は診断が難しいこともあります。このようなときにはすぐに髄液検査を行い診断します。薬や点滴など内科治療が主体です。

7

急性副鼻腔炎

これも多い疾患です。要点は2週間程前に風邪症状があり、その後一端良くなります。2~3日前から右あるいは左の前頭部あるいは上顎部に、痛みがでることが重要です。鼻の奥に鼻漏もでるようになり、そのうちに外から見ても赤くはれが見られるようになります。ポイントは叩打痛の有無です。左右で叩打痛が明らかに違う場合には副鼻腔炎を疑ってCTあるいはMRIを検査します。診断が付かないままに放置していると炎症が波及して失明にいたることもあります。抗生素質などの治療が優先します。





地域の皆さまの
健康を守る

加藤 医院

● 内科

● 脳神経外科

● リハビリテーション科

● 形成外科

● 外科

● 小児科

● 皮フ科

加藤医院

〒452-0822 名古屋市西区中小田井3丁目341

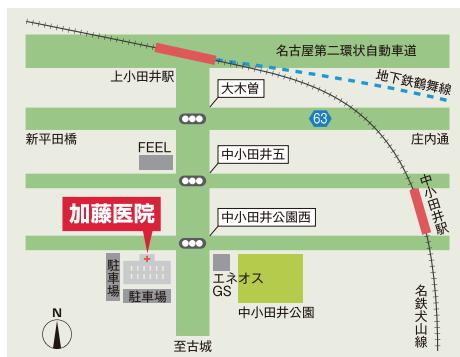
院長 加藤 一 医学博士

ご予約・お問い合わせ

TEL 052-501-6518
FAX

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM 9:00~12:00	○	○	○	/	○	○	/
PM 5:20~ 8:00	○	○	○	○	○	/	/

・木(午後)…糖尿病 外来 土(午前)…脳神経外科 外来
・往診あり



[交通案内] 名鉄・地下鉄 鶴舞線「上小田井」駅 徒歩10分
名鉄 犬山線「中小田井」駅 徒歩8分

Smile&Harmony

明るい笑顔と調和



医療法人
明和会



辻村外科病院



外科・胃腸科／整形外科／リハビリテーション科／脳神経外科／
皮膚科／循環器、内分泌内科／放射線科

〒448-0001 愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島 20-1

理事長

辻村 享

TEL **0566-36-5200**(代) FAX **0566-36-5561**

<http://tsujimurageka-hp.com/>

辻村外科

検索



緊急のご相談窓口

藤田医科大学 ばんたね病院

愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-6-10

TEL: 052-321-8171 加藤庸子携帯: 090-3258-5646



imai
CLINIC

一里山・今井クリニック

〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町中本山88番地

TEL: 0566-26-6700 (クリニック受付)

0566-26-6706 (健診受付)

FAX: 0566-26-6701

E-mail: kenko@imai-clinic.com

公共交通機関でのアクセス方法

●名古屋方面から

*名鉄名古屋より東岡崎・豊川稲荷・豊橋方面に行きに乗車

名鉄名古屋駅 → 知立 → 一里山町北口
特急20分 名鉄バス15分

●豊田方面から

*豊橋方面より名鉄名古屋・名鉄岐阜行きに乗車

豊橋 → 知立 → 一里山町北口
急行(快速急行含む)28分 名鉄バス15分

